

# 個人議員研修復命書

## ①議員行政視察

鎌倉和雄議員・佐々木誠議員・竹中隆浩議員・  
小笠原照美議員・前田孝一議員・水戸部正博  
議員

※資料については事務局に保管しておりますので、閲覧したい  
方はご連絡ください。

豊富町議会事務局 0162-82-1001

# 出張復命書

令和元年10月8日

豊富町議会議長 様

氏名 鎌倉 和雄

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市・札幌市
期間	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>	
<b>秩父別町</b>	
1㎡1円の宅地販売	
38区画を定住促進住宅地として平成28年8月より、販売は3年以内に床面積65㎡以上の住宅新築が条件。暮らしやすさが自慢できる町として、先駆的に取り組むとともに、福祉・子育て支援・出産祝い金・結婚祝い金等バックアップにも取り組んでいた。	
移住・定住促進事業として	
交流体験農園（なつみの里）の提供として、町内にセカンドハウスの住宅を建設し、年間契約で利用者に20棟提供。道内7件、道外12件の利用者がいる。	
こども屋内遊戯場	
平成29年～30年の2カ年で屋内ネット遊戯場・屋外キュービックコネクションを建設。近隣からの利用が多く、施設利用も無料で“損して得取れ”の精神がある。地理的な条件もあるが、学ぶことも多かった。	
<b>奈井江町</b>	
サービス付き高齢者向け地域包括ケアシステム住宅	

町立国保病院の病床を改修し、16室（単身用23㎡7室、夫婦用35㎡9室）を提供していた。新築等よりもコストが安く、病院と連動しているところから、わが町の診療所も、このような提供ができないものかと考えさせる事業と思う。（共有スペースや、町内行事の周知等があれば、終の棲家として利用される？）

## 岩見沢市

### 緑が丘霊園納骨塚

近年「墓じまい」による、合同墓所の要望が高まっている。高額な墓の建設（納骨堂も含め）、墓守がない等の理由により要望も増える中で、岩見沢市が建設した合同墓所は理にかなっていると思われる。本町においても建設に向け動き出してはどうか。

## 札幌市

### 市民防災センター

施設にある地震体験コーナー・消火体験コーナー・煙避難体験コーナー・暴風体験コーナーを実際に体験し、さらに防災バーチャル体験コーナーで3D映画を見て、自分周辺も含め予備知識のないことが分かっただけでなく、災害に対する認識も変わったと思われる。

いつ災害が身に降りかかるとも限らない中で、本町的には津波災害・地震に備える全町的防災訓練の実施で、人的被害を最小限にする施策と防災グッズを備えることの必要性を感じた。

総括的に、今回の先駆的地区の視察で、わが町がどのように明るい未来を築くことが出来るのかを考えさせられました。古いものを壊して新しいものを作る前に、今あるものを更新する・再利用の道はないのか他の町村では、先駆的事例が多くある。「一番でなくてもいい」との考えと町民目線で要望に応じていくことが大事だと思います。

町議会から施策を発信することの必要性を強く感じた行政視察でした。

# 出張復命書

令和元年10月10日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 誠

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市・札幌市
期間	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>  1. 10月2日 午後 秩父別町役場訪問 議会議長他より説明。 ① 屋内屋外遊戯場 屋内、屋外ともに大規模な遊戯施設であり、訪問時は平日でありましたが大勢の児童が遊んでおりました。人口2400人程の町でこれほどの児童が集まっているということは大半が町外からの訪問者と思われます。 また、10数億かけた施設でありながら、町内外を問わず無料で開放していることが、利用者の増加につながっていると思われます。 ② 交流体験農園なつみ 町はずれの丘の上に10数戸の平屋建ての住宅があり、そこには50坪程度の畑が個別についており、自由に野菜などが栽培できるようになっていました。住宅の前には内地ナンバーの車が駐車しており、全国各地から体験に訪れていることが感じられました。 ③ 1㎡1円宅地分譲地 旧小学校の校舎後の敷地を1㎡1円で分譲し、そこに期限内に住宅を建て移住することを条件にしている。 すでに10数件の住宅が建てられて新しい街ができておりました。	

秩父別町は過疎の町ではありますが、屋内屋外遊戯場、交流体験農園なつみ、1㎡1円宅地分譲地等を整備し積極的に他市町村の住民を誘致したことにより、昨年度は3名ではありますが、人口増になったとお聞きし、この少子高齢化、人口減の激しいときにわずかでも増に転じたことは、町理事者、町民が一体となり努力した結果だと思えます。

2. 10月3日 午前

奈井江町役場訪問 議会議長他より説明

① 奈井江町サービス付き高齢者住宅視察

奈井江町立病院を改装してサービス付き高齢者住宅を設置したもので、4階建ての建物の3階部分（当時は入院病棟）を全面的に改装し、単身者、世帯者住宅として利用し、病院内という安心感もあり、入居希望者が多数いるとお聞きし、他町村からの入居者の呼び込みにも繋がると感じました。

ただ、本町の診療所でも空室があることから検討する場合、入院患者との隔離、住民の動線、出入り口の問題等がありそうですが、検討する価値はあると感じました。

3. 10月3日 午後

岩見沢共同納骨塚視察 市担当者から説明

① 岩見沢共同納骨塚

緑が丘霊園内の入り口から1.4キロのところ建設されており、見晴らしの良い静かな環境にあり、建設費もそう高くはなく、本町でも設置検討の必要があると感じました。

4. 10月4日 午前

札幌市民防災センター訪問 案内人より説明

① 札幌市民防災センター

ここでは、煙の中での避難訓練、地震体験、消火体験などを体験させていただきましたが、中でも地震体験は関東大震災レベルの体験であり、椅子に座って自分の体を保つのが大変でした。改めて防災意識の大切さを実感いたしました。

以上、簡単ですが今回の行政視察の報告とさせていただきます。

# 出張復命書

令和元年10月10日

豊富町議会議長 様

氏名 竹中 隆浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市・札幌市
期間	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b> 10月2日 秩父別町役場訪問（概略説明） 交流体験農園なつみの里、いなほ団地、こども屋内遊戯場キッズスクエアちっくる、屋外遊戯場キュービックコネクション、ローズガーデンちっぷべつを視察。 →定住促進・子育て支援に力を入れており、誘客消費拡大効果に優れていて、基本方針が素晴らしいと思いました。  10月3日 奈井江町役場訪問（概略説明） サービス付高齢者向け住宅を視察。 →国保病院を利用した高齢者に安心したサービスが充実していて、所得に応じた価格設定が魅力的でした。売店や買物代行サービスがあると便利だと感じました。  岩見沢市緑が丘霊園納骨塚こぶし苑を視察。 →合同墓所は将来的に必要と思いました。  10月4日 札幌市民防災センター訪問。 札幌市民防災センター視察。 →地震体験、消火体験、煙避難体験、暴風体験、災害バーチャル体験をした。災害時におけるイメージ体験として防火防災に対する意識を高めることができました。	

# 出張復命書

令和元年10月12日

豊富町議会議長 様

氏名 小笠原 照美

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市
期間	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>  秩父別町 秩父別町議会議長 寺迫公裕氏 企画課長 中野慎司氏 教育委員会課長 笹木雄介氏 議会事務局長 白木 隆弘氏 1. 「子ども子育て応援宣言のまち」として基本的政策を明確にしている。 ① 子育て支援では、出産祝金、認定こども園保育料の軽減と放課後こども教室などは町民にとってわかりやすい政策。 ② 移住・定住支援では「なつみの里」は滞在型市民農園として参考になる取組。 ③ 定住促進団地<いなほ団地>は学校跡地の有効活用をされている。 ④ こども屋内遊戯場キッズスクエアちっくるや屋外遊戯場キュービックコネクションは利用客が増加しているが、将来とも続くかは疑問？  秩父別町の行政視察では、大変参考になる事案が多かった。豊富町に今、必要な政策は子ども子育て支援であると痛感いたしました。 基幹産業である酪農の花嫁対策でもこれら子育て支援と安全、安心なまちづくりであると考えます。これらの政策を積極的に進めることができれば、将来は明るいと考えます。そのためには、組織機構の見直し（企画調整できる仕事）を図ることも考えるべきと思います。	

奈井江町 奈井江町議会議長 森岡新二 議会事務局長 滝本静氏  
町立国民健康保険病院事務長兼地域医療連携室次長 杉野和博氏

## 2. サービス付高齢者向け住宅（地域包括ケアシステム充実に向けた取り組み）

- ①人口の減少と高齢化の進行する中、将来の人口構造を見据えて、適正な病床のあり方を検討している。
- ② 地域包括ケアシステムの推進（包括ケアの柱に「住まい」を位置づけ）で病院として何ができるか検討している。
- ③ 病棟再編により、生活の根幹である「住まい」を病院内に開設することで、医療と介護の一体的な提供による地域包括ケアシステムの充実を目指している。

※病棟の再編により96床から50床に削減した。空き病棟となる3階をサービス付き高齢者向け住宅とするなど、病院の効率的な運営を早くから検討、協議してきた結果であり、財源の確保も国、北海道の助成制度を活用するなど、関係機関と連携をとりながら進めている。議会報告から開業まで1年で実施されている。

概要説明の後、現地視察をする。建物の構造、設備を活用していると感じた。豊富町の場合は、2階への出入口及び現病棟と隣接することから「住まい」は厳しいものがある。唯一考えられる活用としては、温心園と連携を強化し、ショートステイ（短期入所生活介護）やリハビリを必要とする介護施設として運用できると考えます。

上記2町を視察して共通している事は、町長の指導力の強さを痛感する。今後は新町長に期待したい。

岩見沢市 環境部環境保全課長 菅原清次氏 環境保全係主事 田畑迅門氏

## 3. 緑が丘霊園納骨塚

「墓じまい」する家庭が増えている現状で、合同墓所は今後とも必要と考え、豊富霊園内建設を検討すべきと考えました。

# 出張復命書

令和元年10月23日

豊富町議会議長 様

氏名 前田 孝一

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市・札幌市
期間	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>  <b>秩父別町</b> 定住促進団地～1㎡1円宅地販売で人口増加。 こども屋内屋外遊戯場～オープン以来、大勢の家族連れでにぎわっている。 交流体験農園～道外からの利用者が多いと現地にて説明を受けた。  <b>奈井江町</b> サービス付き高齢者向け住宅～空き病棟を改修して住宅へ  <b>岩見沢市</b> 緑が丘霊園納骨塚～お墓を承継する親族がいない人に対しての将来の墓所にすることができる。  <b>札幌市</b> 市民防災センター～地震災害時、風水災害時、日ごろの備えが必要。地域での防災活動の取り組みが重要と考える。	

# 出張復命書

令和元年10月25日

豊富町議会議長 様

氏名 水戸部 正博

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

## 記

用務	議員行政視察
用務先	秩父別町・奈井江町・岩見沢市・札幌市
期間	令和元年10月2日 ~ 令和元年10月4日
<b>用務の概要（会議等の概要）</b>	
<b>秩父別町</b> 屋内屋外遊戯場 キッズスクエアちっくる ベルパーク ゴールデンウィーク時には入場制限するほどの盛況ぶりは札幌圏22%、旭川圏25%、海外から200~300人と来客層も多彩でかつ、野外施設管理はふるさと納税で賄えるなど成功の極みとも思えるが本来の目的が、同町の子育て環境であるならば、どう考えるか。 町の発展のために町外からの集客にはなっているだろうが大変大規模でうらやましいとは思いますが、本町で考えるならば、周辺人口も少なく、身の丈に合った規模が良かろうと思う。	
<b>交流体験農園 なつみの里</b> ユニークな発想で金と暇があり、自然を満喫したい方はとても魅力的だろう。ただし、大都市圏に交通アクセスが良いところが条件になる。	
<b>1㎡1円宅地分譲地 いなほ団地</b> 入居者は若い世代で子どもたちが丁度下校帰宅時であった。 このような世代に来ていただける職場が必要。（通勤可能範囲で）	

**奈井江町** サ高住 あんしん

病院の空きスペースをサ高住にするアイデアはとても理にかなっている。ただし、奈井江町のようにワンフロアを丸ごとできなければならない。本町のように、同じフロアに混在はできない。

**岩見沢市** 緑が丘霊園納骨塚

本来は、墓地が足りなくなるので計画されたのだが、昨今のご時世は墓じまいが主な理由と聞きました。本町でも必要になるものだと思います。

**札幌市** 市民防災センター

煙避難体験は、やってみて良かったと思いました。暗い中、煙が立ち込めている中、出口を探すのは大変です。